

晩菊 (1954)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 102分

初公開日 1954/06/15

【解説】

林芙美子の短編小説『晩菊』『水仙』『白鷺』を、田中澄江と井手俊郎が共同で脚色し、成瀬巳喜男が監督した女性映画。盛りを過ぎた四人の元芸者たちの人生を、ユーモラスかつシニカルに描く。

かつて芸者だった倉橋さんは、今や金を貸したり土地を売買したりと金儲けに生きていた。金の借り手の中には、かつての芸者仲間であるたまえ、とみ、のぶの三人もいた。もはや色恋には興味を示さないきんだったが、かつて恋人だった田部からの手紙には心を躍らせ、化粧をして待ち合わせ場所に赴いた。しかし田部の目的は金を借りることであり、きんは落胆するのだった。

【クレジット】

監督 成瀬巳喜男

製作 藤本真澄

原作 林芙美子

脚本 田中澄江

井手俊郎

撮影 玉井正夫

美術 中古智

編集 大井英史

音楽 斎藤一郎

出演 杉村春子 倉橋きん

沢村貞子 中田のぶ

細川ちか子 小池たまえ

望月優子 鈴木とみ

上原謙 田部

小泉博 小池清

有馬稲子 鈴木幸子

見明凡太郎 関

澤村宗之助 中田仙太郎

加東大介 板谷

鏑木ハルナ 静子

坪内美子 岩本栄子

出雲八枝子 ホテルの女中

馬野都留子 巡礼